

## Z-512J 追加説明書

本書は、ボードタイプ PLC J-board Z-500 シリーズの CPU ボード Z-512J についての追加説明書です。電池についてご使用になる前にお読みいただきたい事項と、誤り訂正について記載しております。「Z-512J ユーザーズマニュアル・ハード編(初版)」に追加してお読み願います。

### 〈目次〉

	ページ No.
1. ご使用になる前に必ずお読みください . . . . .	2 / 4 ~ 3 / 4
〔1〕 メモリバックアップ用電池について 2 / 4	
■ サポートツールの操作方法 2 / 4	
(1) メモリクリア(オールイニシャライズ) 2 / 4	
(2) 時計の時刻合わせ 2 / 4	
〔2〕 電池の交換について 3 / 4	
(1) 電池の寿命と交換時期 3 / 4	
(2) 電池の電圧低下検出と交換 3 / 4	
(3) ユニットの保存する場合 3 / 4	
2. 誤り訂正 . . . . .	4 / 4
〔1〕 「上位コンピュータとの通信」の訂正 4 / 4	
〔2〕 「各ボードの I / O 割付」の訂正 4 / 4	

### シャープマニファクチャリングシステム株式会社

本社 〒581-8581 大阪府八尾市跡部本町4丁目1番33号

● インターネットホームページによるシャープ制御機器の情報サービス  
<http://www.sharp.co.jp/sms/>

# 1. ご使用になる前に必ずお読みください

本項の記載内容は、CPU ボードの機種名の横に **(B)** マークが印字されている Z-512J が対象です。

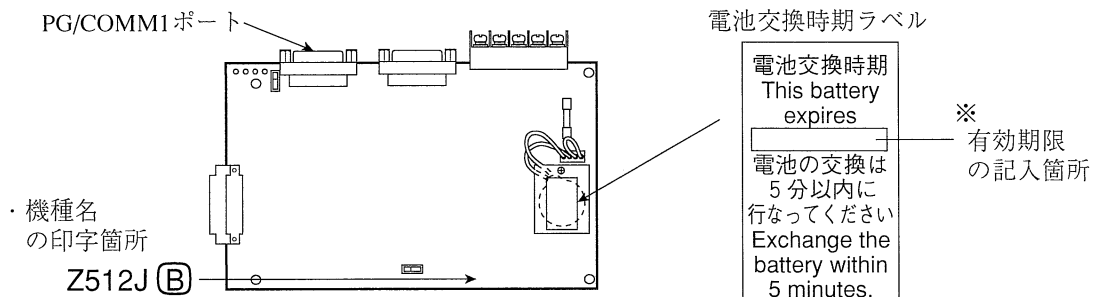
## Z512J (B)

### [1] メモリバックアップ用電池について

プログラマブルコントローラ J-board : Z500 シリーズ (Z-511J / Z-512J) のバージョン **(B)** からは、電池 (メモリバックアップ用) の消耗を防止するため、出荷時に電池ユニットは CPU ボードの電池コネクタに接続していません。

よって、出荷時のメモリは不定になっておりますので、ご使用になる前には必ず電池ユニットのコネクタを CPU ボードの電池コネクタに接続した後、サポートツールを PG/COMM1 ポート側に接続して、「メモリのクリア (初期化)」および「時計の時刻合わせ」を行ってください。

また、電池の有効期限を、お客様の使用条件 (通電 / 非通電状態の比率) から算出し、ラベル (下記※) に記入してください。⇒ 次項「[2] 電池の交換について」参照

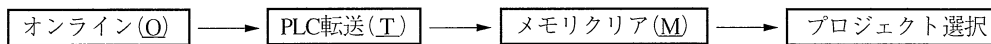


・電池ユニットは、電池カバー内に格納しています。

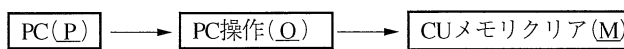
## ■ サポートツールの操作方法 (詳細は各サポートツールのマニュアルを参照願います。)

### (1) メモリクリア (オールイニシャライズ)

#### ① JW-300SP を使用時



#### ② JW-100SP を使用時



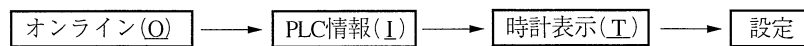
・CUメモリクリアの際にパスワード入力画面が表示された場合、【9999】と入力してください。

#### ③ JW-15PG を使用時



### (2) 時計の時刻合わせ

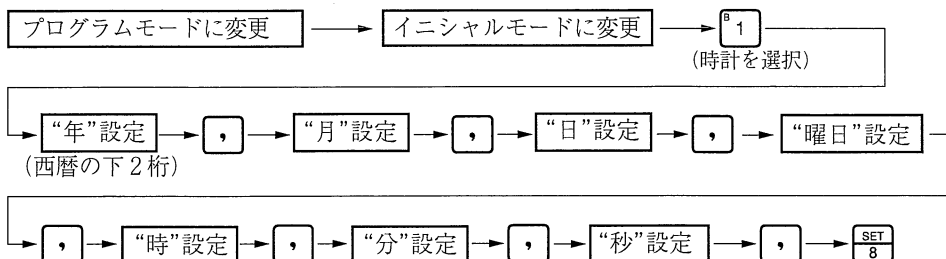
#### ① JW-300SP を使用時



#### ② JW-100SP を使用時



#### ③ JW-15PG を使用時



## 〔2〕電池の交換について

## (1) 電池の寿命と交換時期

電池の有効期間は最大5年間です。

電池の寿命はCPUボードへの通電／非通電の使用時間比率によって変わりますので注意願います。

電池の寿命については次のとおりです。

通電時間	周囲温度(55℃)	平均周囲温度(25℃)
連続非通電 (通電時間率0%)	1.1年	2.2年
連続通電 (通電時間率100%)	5年	5年
年間365日、2時間通電/日	2.7年	5年
年間245日、8時間通電/日	2.5年	5年

## ■ 実使用時のめやす(平均周囲温度25℃)

$$\text{電池寿命(年)} = \frac{20000}{\text{年間非稼働日数(日)} \times 24(\text{h}) \times \text{年間稼働日数(日)} \times (12(\text{h}) - 1\text{日の通電時間}(\text{h}))}$$

- ・非稼働日とは、1日のCPUボードへの通電が30分未満である日のことです。
- ・稼働日とは、1日のCPUボードへの通電が30分以上である日のことです。
- ・1日の通電時間が12時間以上である場合は、1日の通電時間を12時間としてください。
- ・電池寿命は、電池の自己放電の影響により、計算結果にかかわらず最長5年です。

## (2) 電池の電圧低下検出と交換

電池の寿命により電池電圧が低下すると、CPUボードが電池電圧の低下を検出し、赤色の異常(FLT)ランプが点灯します。(運転モードの場合は運転を継続します。このときの停止出力は閉のままとなります。)

また、特殊リレー007372がONとなり、システムメモリ#0160にエラーコード22<sub>III</sub>が格納されます。この特殊リレーの状態を外部へ出力し、CPUボードの異常検出として利用してください。特殊リレー007372がONになった後でも、規定時間内はデータを保持しますが、できるだけ早く電池を交換してください。

電池電圧の低下検出前でも、ご使用の状況に合わせて、定期的にメモリバックアップ用電池の交換をお奨めします。

## (3) ユニットの保存する場合

CPUボードを非通電で保存する際、メモリのバックアップが不要な場合は、電池コネクタを外してください。

## 留意点

- ・電池の接続は、CPUボードへの通電直前に実施してください。
- ・電池を接続したまま、非通電状態で放置すると、電池の寿命が短くなります。

\*各サポートツール等のマニュアルは、当社のホームページ(<http://www.sharp.co.jp/sms/>)にも掲載しております。

## 2. 誤り訂正

「上位コンピュータとの通信」と「各ボードのI/O割付」の説明にて、下記        部に記載している内容が誤っております。正しい記載を下記に示しますので、訂正してお読み願います。  
お客様にはたいへんご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

### 〔1〕「上位コンピュータとの通信」の訂正 ⇒ マニュアルの7・11ページに対応

Z-512Jでは、コマンドのRFLFとWFLEを使用できません。(RFLFとWFLEは実行不可です。)

下記        内が正しい記載です。

○：実行可 ×：実行不可

機能	コマンド名	書込モード			Z-512Jの状態		
		0	1	2	HLTコマンドにより停止中	運転中	
読出 コマンド	リレーのモニタ	MRL	○	○	○	○	○
	タイマ・カウント・MDの 現在値のモニタ	MTC	○	○	○	○	○
	レジスタの現在値のモニタ	MRG	○	○	○	○	○
	ファイル1のレジスタの読出	RFL	○	○	○	○	○
	ファイル0～3のレジスタの 読出	RFLF	○	○	○	○	○
	ファイル00～03、10～2Cの レジスタの読出	RFLE	×	×	×	×	×
	特殊I/Oボードの パラメータの読出	RPSR	○	○	○	○	○
		RPS	○	○	○	○	○
	通信ボードの パラメータの読出	RPO	○	○	○	○	○
	システムメモリの読出	RSM	○	○	○	○	○
プログラムメモリの読出	RPM	○	○	○	○	○	
日付の読出	MDY	○	○	○	○	○	
時刻の読出	MTM	○	○	○	○	○	
書込 コマンド	リレーのセット/リセット	SRR	×	○	○	○	○
	タイマ・カウンタの セット/リセット	SRT	×	○	○	×	○
	レジスタへの書込	WRG	×	○	○	○	○
	レジスタへの同データの書込	FRG	×	○	○	○	○
	ファイル1のレジスタへの 書込	WFL	×	○	○	○	○
	ファイル0～3のレジスタへの 書込	WFLF	×	○	○	○	○
	ファイル00～03、10～2Cの レジスタへの書込	WFLE	×	×	×	×	×
	特殊I/Oボードの パラメータの書込	WPSR	×	×	○	○	×
		WPS	×	×	○	○	×
	通信ボードの パラメータの書込	WPO	×	×	○	○	×
システムメモリへの書込	WSM	×	×	○	○	×	
プログラムメモリへの書込	WPM	×	×	○	○	×	

←正しい記載

←正しい記載

### 〔2〕「各ボードのI/O割付」の訂正 ⇒ マニュアルの7・2ページに対応

通信ボードZ-338Jの占有内容に誤りがあります。下記        内が正しい記載です。

I/Oリレーアドレス	Z-331J	Z-338J	左記以外
コ(n)、コ(n+1)	オプション(ダミー)	オプション(ダミー)	オプション(ダミー)
コ(n+2)、コ(n+3)	オプション(ダミー)	IN 16点	アキ
コ(n+4)、コ(n+5)	アキ	OUT 16点	アキ
コ(n+6)、コ(n+7)	アキ	アキ	アキ

↑  
正しい記載